

問1 紀伊半島の東側に位置する志摩半島周辺では、複雑に入り組んだ湾内を利用して真珠やカキの養殖が盛んに行われています。このような地形が養殖業に適している地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 愛媛公立入試 類似)

- |                                      |   |                                      |  |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|--|
| 1. 深い湾が連続することで外海の影響を受けにくく、波が穏やかであるため | 2. 遠浅の海岸が続いているため、大規模な干拓を行って養殖場を確保しやすいため | 3. 海岸線が直線的で潮通しがよく、大型の漁船が効率よく作業を行えるため | 4. 背後の山地が海岸まで迫っていないため、日照時間が長く水温が上昇しやすいため |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|--|

問2 神戸市の中心部における地形の特色と、そこから読み取れる都市の形成状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛知公立入試 類似)

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 1. 北側に六甲山系が迫り南側が海に面するという限られた平地に、主要な駅や官公庁が集中して配置されている。 | 2. 広大な平野の中央部に大規模な盆地が広がっており、その中心部に等高線に沿って公共施設が分散している。 | 3. 複雑に入り組んだリアス海岸の入り江ごとに、山を背にして独立した小規模な集落と駅が点在している。 | 4. 大規模な扇状地の扇端部に位置しており、等高線の間隔が非常に広い平坦な土地を利用して官公庁が並んでいる。 |
|---|--|--|--|

問3 近畿地方の農業に関する統計において、ある府県の果実産出額が六百七億円に達し、他の府県と比較して突出した数値を示している資料があります。この府県は高い林野率と長い海岸線を併せ持っていますが、ここで温暖な気候と傾斜地を活かして大規模に栽培されている果実を選びなさい。 (2016年 愛知公立入試 類似)

- |        |          |        |        |
|--------|----------|--------|--------|
| 1. みかん | 2. さくらんぼ | 3. りんご | 4. ぶどう |
|--------|----------|--------|--------|

問4 2017年の統計に基づき、近畿地方の各府県における65歳以上人口の割合を比較した際、その割合が24%から27%の範囲にあり、近畿地方の中で最も高齢化率が低い県と、その県庁所在地の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

- |              |                |              |             |
|--------------|----------------|--------------|-------------|
| 1. 滋賀県 — 大津市 | 2. 和歌山県 — 和歌山市 | 3. 奈良県 — 奈良市 | 4. 三重県 — 津市 |
|--------------|----------------|--------------|-------------|

問5 兵庫県の産業統計において、特定の地域では化学工業の製造品出荷額が非常に高い一方で、別の地域では繊維工業が地場産業として根付いています。このような産業分布が形成された背景と現状に関する記述として、最も適切なものはどれですか。

(2023年 兵庫公立入試 類似)

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 臨海部は原料の輸入や製品の出荷に便利のため重化学工業が発展し、内陸部では歴史的背景を持つ繊維工業をブランド化して成長させている。 | 2. 内陸部の急峻な地形が石油精製施設の建設に適していたため重化学工業が発達し、臨海部では砂浜を利用した繊維の天日干しが行われている。 | 3. 兵庫県は伝統的工芸品の指定数が全国で最も多いため、すべての地域で重化学工業よりも繊維工業の出荷額の方が高くなっている。 | 4. 海外への輸出を縮小し、国内市場のみに特化するために、石油化学コンビナートを内陸部へ移転させる政策が進んでいる。 |
|---|---|--|--|

問6 歴史的な景観を保護する取り組みが進んでいる地域において、実際に導入されている具体的な景観対策として正しいものはどれですか。 (2020年 佐賀公立入試 類似)

- |  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 1. 夜間の視認性を高めるため、すべての看板に原色のネオンサインを使用させる | 2. 効率的な物流を実現するため、古い街並みを解体して道幅の広い直線道路を整備する | 3. コンビニエンスストアなどの看板の色を、周囲に馴染む落ち着いた茶色や白に変更する | 4. 観光客の利便性を高めるため、寺社の境内に近代的な大型ショッピングモールを併設する |
|--|---|--|---|

問7 ある統計資料において、近畿地方の複数の府県で「人口密度が500人以上700人未満」かつ「人口増減率がマイナス」という傾向が見られました。この地域の高齢化率の状態について述べたものとして正しいものを選びなさい。 (2015年 岡山公立入試 類似)

- |                                |                                   |                                |                                |
|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 高齢化率が全国平均の25.1パーセントを上回っている。 | 2. 高齢化率が全国平均の25.1パーセントを大きく下回っている。 | 3. 若年層が多いため、高齢化率は全国で最も低い水準にある。 | 4. 人口減少に伴い、高齢者数そのものが急激に減少している。 |
|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|

問8 日本の都道府県のうち、北は日本海、南は瀬戸内海という2つの海に面した広大な領域を持ち、県内に位置する淡路島と本州の神戸市を明石海峡大橋によって結んでいる自治体はどこですか。 (2026年 静岡公立入試 類似)

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 兵庫県 | 2. 大阪府 | 3. 岡山県 | 4. 徳島県 |
|--------|--------|--------|--------|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 深い湾が連続することで外海の影響を受けにくく、波が穏やかであるため	リアス海岸は、岬が波のエネルギーを遮るため、湾の内部は非常に波が穏やかになります。この特徴が、真珠の養殖いかだを設置したり、カキを育てたりするのに非常に適した環境を作り出しています。
問2	<b>答え 1</b> 北側に六甲山系が迫り南側が海に面するという限られた平地に、主要な駅や官公庁が集中して配置されている。	神戸市は、北側の六甲山系と南側の大阪湾（瀬戸内海）に挟まれた東西に細長い土地に市街地が形成されています。地形図からは、北側に等高線が密集する急峻な山地が迫っている様子や、その山麓から海岸までのわずかな平地の中に、三ノ宮駅や元町駅、兵庫県庁、神戸市役所といった主要な都市機能が密集して存在していることが読み取れます。このような狭小な平地という地理的条件が、神戸の都市構造を決定づける要因となっています。
問3	<b>答え 1</b> みかん	和歌山県は、黒潮の影響を受けた温暖な気候と、県土の多くを占める傾斜地を有効に活用しています。特に水はけが良く日光が当たりやすい斜面はみかんの栽培に最適であり、近畿地方において圧倒的な果実産出額を誇る要因となっています。
問4	<b>答え 1</b> 滋賀県 — 大津市	近畿地方において、滋賀県は京都府や大阪府といった大都市圏に隣接しており、県庁所在地の大津市などを中心にベッドタウンとしての機能を持っているため、他の府県と比較して高齢者の割合が低く保たれているという特徴があります。一方で、選択肢にある和歌山県などは滋賀県に比べて高齢化率が高い傾向にあります。
問5	<b>答え 1</b> 臨海部は原料の輸入や製品の出荷に便利 なため重化学工業が発展し、内陸部では 歴史的背景を持つ繊維工業をブランド化 して成長させている。	重化学工業、特に石油化学工業は原料となる原油を大型タンカーで輸入するため、水深の深い港を持つ臨海部にコンビナートが形成されました。一方、内陸部では古くからの農閑期の副業や特産品を起源とする地場産業が発展してきました。近年ではこれらの地場産業が、単なる伝統の継承にとどまらず、現代のニーズに合わせたブランド戦略を展開することで、地域の経済を支えています。
問6	<b>答え 3</b> コンビニエンスストアなどの看板の色 を、周囲に馴染む落ち着いた茶色や白に 変更する	景観を保護する地域では、全国展開している企業の店舗であっても、街の雰囲気や壊さないようなデザインが求められます。本来は赤や青などの派手なブランドカラーを使用している店舗でも、条例に従って落ち着いた色調に変更するなどの工夫が行われており、これが街の調和を保つための具体的な規制の一例となっています。
問7	<b>答え 1</b> 高齢化率が全国平均の25.1パーセント を上回っている。	人口密度が1平方キロメートルあたり500人以上700人未満という数値は、全国的に見れば比較的高い部類に入りますが、近畿地方の特定の府県においては人口減少と高齢化が同時に進行している課題を示しています。人口減少が発生している地域では、同時に高齢化率も全国平均を上回る傾向にあり、単に人が密集しているかどうかだけでなく、その内訳（年齢構成）や増減の変化を捉えることが重要です。
問8	<b>答え 1</b> 兵庫県	兵庫県は近畿地方の西端に位置し、北部の但馬地域で日本海に、南部の播磨・摂津地域で瀬戸内海に面しています。瀬戸内海に浮かぶ淡路島も兵庫県の一部であり、本州との間には世界最大級の吊り橋である明石海峡大橋が架けられています。これにより、近畿地方から四国地方（徳島県方面）への陸路による交通の要衝となっています。